

ブラジル中央銀行が政策金利を1%引き下げ

大和証券投資信託委託株式会社

ブラジル中央銀行は6月10日(現地)、政策金利(Selic Target Rate)である翌日物金利の誘導目標を10.25%から9.25%へ引き下げました。9.50%への利下げを見込む市場関係者が多かったため、1%の利下げ幅はややサプライズとなりました。ブラジル中央銀行は今年の1月に利下げに転じましたが、利下げは今回で4度目となります。

直後の声明文には「物価上昇率が目標に近づいていることを考慮したうえで、金融政策委員会は9.25%への利下げを決定した」と記されました。ただし、全委員8人のうち、2人は9.50%への利下げに留めることを主張しており、全会一致の決定ではないことが示されました。また、「今後の追加的な金融緩和はそのペースを落とさねばならない」と記されており、今後の利下げ幅は1%より縮小する可能性が出てきました。

ブラジルのマクロ経済に目を向けると、2009年1-3月期の実質GDPは前期比 0.8%と2008年10-12月期の同 3.6%からマイナス幅が縮小しました。また、2009年1-3月期の米国の実質GDPは前期比 1.5%、日本は同 3.8%となっており、ブラジルの落ち込みの度合いが小さいことがわかります。ブラジルのGDPを需要項目別に見ると、消費や政府支出が増加していました。消費に関しては、景気対策としての自動車減税の影響が大きいと考えられます。また、鉱工業生産も4ヶ月連続で前月比プラスとなるなど、最悪期から脱する動きも見られます。

ブラジル中央銀行は金融政策を行う際の判断材料としてインフレ目標を採用しており、現在の目標値は $4.5\% \pm 2\%$ と定められています。対象となる消費者物価の上昇率(前年同月比)は、昨年10月に記録した6.4%をピークに5月の5.2%まで着実に鈍化しています。市場のインフレ期待の落ち着きを受け、追加の利下げが実施される可能性が高いといえますが、上述のブラジル中央銀行の考え方やマクロ環境を考慮すると、利下げは終盤に入りつつあると考えられます。

以上

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。こうした銘柄については、外国証券内容説明書をご覧ください。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会